

年頭のご挨拶

日本アイ・ビー・エム健康保険組合

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、当健康保険組合の事業運営につきまして日頃より多大なるご理解・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年は2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻により、エネルギーや食料価格の高騰、サプライチェーンの寸断などが発生し世界的なインフレが進行しました。加えて国内では新型コロナウイルス感染症や為替変動などの不確定要素により、健康保険組合の主な収入となる保険料収入の推移についても、依然としてはっきりとした見通しが立てられない状況です。

2022年度の健康保険組合の予算早期集計結果（概要）では、高齢者医療制度のために拠出する納付金等が、2020年度のコロナ禍での受診控えによる精算戻りの影響で減少したことから、経常収支差引額では赤字幅が縮小しました。しかし納付金等の減少は一時的なものであり、団塊の世代が後期高齢者に移行する2025年にかけては大幅な増加が見込まれています。国では高齢者にも一定の負担を求める制度改革が進められていますが、現役世代、特に健康保険組合を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあることを踏まえ、現役世代のさらなる負担軽減につながる改革が求められます。

国内では今後もいわゆる「ウィズコロナ」の生活がしばらく続くとみられており、改めて心身の健康が重要視されています。当健康保険組合ではみなさまの心身の健康をお守りするため、必要な感染対策をしっかりとったうえで、各種保健事業を実施しております。また、収支の維持・改善にも努めてまいりますので、みなさまにおかれましても、各種事業をご活用の際は、日々の健康管理にご留意いただくとともに、適正な受診行動、ジェネリック医薬品やリフィル処方箋のご利用など、医療費の節減にご協力くださいますようお願い申し上げます。

結びに、本年がみなさまにとって実り多き1年となりますことをご祈念申し上げて、年頭のご挨拶とさせていただきます。